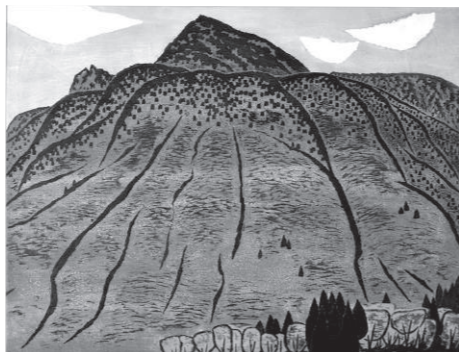


高山の文化

No.193 2017.10.4 Culture in Takayama

一般社団法人 高山市文化協会発行
 高山市昭和町1丁目 高山市民文化会館内 Tel.34-6550 Fax.34-6877
 メールアドレス ●mail@takayama-bunka.org
 ホームページアドレス ●http://www.takayama-bunka.org
 (文化会館の催し物案内はこのホームページをご覧ください。)



木版画「安房山」60号(約130cm×97cm)
 守 洞春
 文化会館2階ギャラリーに展示

平成30年 新年市民互礼会のご案内

恒例の新年を祝う「市民互礼会」を次のとおり開催します。市民の方ならどなたでもご参加いただけます。併せて飛騨文芸祭・一般の部の表彰式を行います。文芸祭にご応募いただいた皆様のご参加をお待ちしております。

- ◇日時 平成30年1月1日(月) 午前11時～
- ◇会場 ひだホテルプラザ
- ◇会費 7,000円 (記念品・芳名録代を含む)
- ◇申込み 11月30日(木)までに、ハガキ FAX、又はHPより。
- ◇申込先 〒506-0053 高山市昭和町1-188-1 (一社) 高山市文化協会 (FAX) 0577-34-6877 (H P) http://www.takayama-bunka.org



闘鶏楽保存協会ポスター

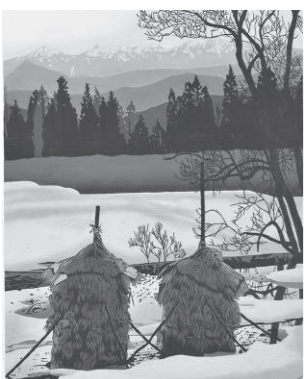
玉氏が遺した「心のメッセージ」を感じてみませんか。ぜひご来場ください。

高山市文化協会では、郷土の文化・歴史に関する特別展を毎年開催しています。今年、平成二十八年十一月に亡くなられた、デザイナー玉賢三氏の遺作展を開催します。

玉氏は、昭和二年高山に生まれ、高山祭や高山の伝統文化をモチーフに長年グラフィックデザインの制作を続け、高山市の観光ポスターやパンフレットの他、商店街のチラシデザインなども多数手掛けられ、そのデザインは高く評価されています。今回の遺作展は、今年ご遺族から高山市に寄贈された三百点余りのポスター・原画・習作より約百点を選び、「祭り・屋台」、「女性たち」、「飛騨・日本」、「デザイン」などのジャンルに分けて展示します。

(一社)高山市文化協会特別展
玉賢三 心のメッセージ
 十月二十七日(金)～二十九日(日)

七回目となる日本板画院東海支部の高山展を、高山市民文化会館にて開催します。今回は、第六十七回板院展(東京上野美術館)出品作を中心に、東海支部(愛知・岐阜・三重)二十七名の作品に加え、北陸支部(富山・福井)の作家二十六名を招き、五十三点の作品を展示します。展示作品には、地元作家七名の作品(入賞作三点)もあります。ぜひご



「春まだ遠き里山」大門 孝蔵

来場ください。
 ◇日時 十月六日(金)～八日(日) 午前九時～午後五時(最終日午後四時まで)
 ◇会場 文化会館四階 大会議室



若き日の自画像
 上宝村草、高山市名誉市民章、中橋公園照明灯などのデザインを手掛けている。高山市美術展では、創設時より運営委員を務めた。

立。四十二年日本宣伝美術会会員。
 五十九年英国の「モダン・パブリシティ」に作品が掲載される。平成七年東海郵政局の四連「ふるさと切手」をデザインし、人気投票で総合一位。

ウィーン=ベルリン ブラス・クインテット

Japan Tour 2017 Wien-Berlin Brass Quintet
 (プログラム) J.S. バッハ:クリスマス・オラトリオBWV 248より「われはただ汝の栄光のために生きん」
 J.S. バッハ:主イェス・キリスト、われ汝を呼ぶBWV 639 W.A. モーツァルト:アダージョとフーガ ハ短調 KV 546
 A. ドヴォルザーク:ユモレスク B. バルトーク:ルーマニア民族舞曲
 マーティン/ブレイン:あなたに楽しいクリスマスを L. パーンスタイン:ダンス組曲
 A. ピアソラ:コラールとタンゴ ほか
 ※演目は都合により予告なく変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

平成29年 **12/19** 火 午後6時30分開演 午後6時開場
こくふ交流センター さくらホール
 高山市国府町広瀬町880-1
 高山市文化芸術鑑賞事業 主催 高山市(一社)高山市文化協会
 チケット料金(税込) (一般)3,000円(メセナメイト会員)2,500円
 全席指定 (ジュニア(18才以下))500円 ※未就学児入場不可
 チケット発売 10月14日(土)午前10時～(一斉発売)
 (オンライン受付 午後1時～)
 プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
 さくらホール管理事務所(2F) tel.0577-72-4480
 飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180
 http://www.takayama-bunka.org

ポール・モーリア リメンバー・コンサート

ジャン・ジャック・ジュスタフレ・グランド・オーケストラ
 大人のイージーリスニングをあなたに。フランスの香り漂う華麗なアンサンブルが織りなす音楽の世界旅行。華麗なるサウンドが甦る。

平成29年 **10/19** 木 午後7時開演 午後6時30分開場
高山市民文化会館 大ホール
 高山市文化芸術鑑賞事業 主催 高山市(一社)高山市文化協会
 チケット料金(税込) 全席指定 ※未就学児入場不可
 (一般)S席7,000円/A席5,000円
 (メセナメイト会員)S席6,500円/A席4,500円
 (ジュニア(18才以下))S・A席共通3,000円
 プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
 飛騨市文化交流センター tel.0577-73-0180
 http://www.takayama-bunka.org

月亭八方 爆笑寄席

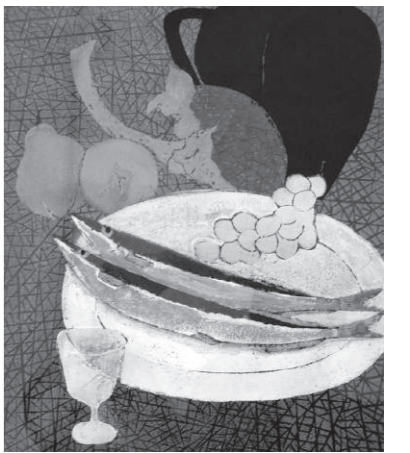
月亭方止 山崎邦正
 月亭遊方
 ティーアップ

平成29年 **11/19** 日 午後2時30分開演 午後2時開場
丹生川文化ホール
 高山市文化芸術鑑賞事業 主催 高山市(一社)高山市文化協会
 チケット料金(税込) 全席指定
 (一般)2,500円(メセナメイト会員)2,000円
 (ジュニア(18才以下))500円
 プレイガイド 高山市民文化会館 tel.0577-33-8333
 丹生川文化ホール tel.0577-78-2468
 http://www.takayama-bunka.org

◇お問い合わせ (一社)高山市文化協会 (tel.0577-34-6550) mail@takayama-bunka.org

絵付師 吉川菊麿

田中 彰



静物の版画 坂谷家蔵

吉川菊麿は本名菊右衛門といひ、菊麿は絵付師としての号、明治四十四年高山町川西で吉川家二男として生まれた。芳国舎洪草製陶所の絵付師として著名であったが、その生い立ちを知るため姪の坂谷宣子さんを訪れた。宣子さんは吉川家長男、達三の娘で、菊麿は達三の弟、叔父さ

んにあたる。菊麿のことをよく知る人で、小さい頃からずいぶん可愛がられたと聞き、詳しく話を伺った。何しろ絵が好きで、宣子さんが小さい頃、羽子板の裏に絵を描いてくれてうれしかったという。性格はおおらかで細かいことにこだわらず、人の悪口を言わなかった。一心に絵を好きで描きたいという強い思いを持ち、気ままに暮らしていた。絵は油絵、版画、日本画、水墨画など、何でもこなした。版画は若い頃で、晩年は水墨画をよく描いていたと宣子さんは振り返る。



好きなベレー帽をかぶっての絵付作業 上岡本芳国舎

絵を描きたいと思うようになったきっかけは何であったのか。菊麿の家の近くに画家の樫文峰がいて、そこに出入りして、接触していたよう

十二月五日(火)に文化会館で原作映画を無料上映(メセナメイト会員対象) ③江馬修 高山市出身 代表作「山の民」。考古学、民俗学にも貢献 ④江夏美好 神岡町出身 代表作「下々の女」。直木賞候補作家 ⑤田中澄江 東京出身 小説家・劇作家。幼少期から高山市民と交流 ⑥小島幸男 高山市在住 飛驒の俳句・文学隆興に寄与 ⑦瀧井孝作 高山市出身 代表作「俳人仲間」。芥川賞



七賢人の陶磁器 坂谷家蔵

退職してからは気ままに絵を描き、人生で一番楽しい時期を過ごした。晩年、菊麿は好きな絵と共に生きてよかったと言っていたが、病を得て日赤病院に入院し、三カ月程

で亡くなってしまふ。絵をこよなく愛し、小さな器の中に菊麿の世界を描き続けた彼の作品は、芳国舎の陶磁器を愛する人たちに彼の想いを伝えて続けている。 略歴 明治四十四年十一月一日、平成三年十二月二十一日、日版会の創立会員。東光会会員。日展版画部門で入選五回。昭和十九、二十年、高山に疎開していた東京美術学校工芸技術講習所の生徒に実技指導した。伝統的工芸品産業振興協会会長表彰(昭和五十一)。卓越技能者労働大臣表彰(昭和五十七)。勲六等瑞宝章(昭和五十九)。趣味は魚釣り、タバコ。コーヒーが大好きで毎日のように喫茶店に通っていた。

「風呂(目)」 酒を色々替えて飲むのを「チャンポン」と言う。語源は中国ともインドネシアともいわれるが、沖繩の「チャンブル」が長崎で「チャンポン」になったという説がある。さらに巡業の力士が長崎から江戸に帰っての「ちゃんこ」になったとか。 京と江戸の文化がチャンポンして高山の文化に育ってきた。「にたくもじ」は宮中の言葉で、「江戸萬」のコテ絵も残る。違ったものが混じり合うと、化学反応し年代を経て芳醇な味と香りを発することもある。ウイスキーのモル

ともブレンドして寝かせることで品質が上がるといふ。昔、酒を造ってたら酔になっていた、なんて話を聞いたことがある。小粋な「寄せ鍋」もやり方次第では単なる「ごった煮」になる。混ぜ方が大事。 いま街の中はスマホ片手の人ばかり。全ての文化がスマホでチャンポンされている。便利だけど本当にこれで良いのだろうか。私は悪酔いしそうになる。 酔いが醒めたらスマホがスマホを使って人間が要らなくなっていた…なんて。 (ガンモン毛筆)

文学散歩のご案内 飛驒民俗村エリア

高山市文化協会では、毎年飛驒の里近くの「文学散歩道」の清掃を行っています。今年は八月十七日に、役員総出で草刈りや文学碑の苔を洗い流すなどの作業を行いました。



文学碑を洗う役員

友好の丘(旧飛驒民俗館跡) 駐車場から飛驒の里までの山裾ぞいにあるこの小径には、飛驒出身者や飛驒を愛した作家の文学作品を碑にして設置されています。 飛驒の文学に親んでもらいたいとの趣旨から、当協会

と飛驒俳句会により、昭和四十九年に整備されました。その後増設し、現在では八基の碑が散歩道に点在しています。また、少し離れた飛驒東照宮の境内にも、飛驒の近代俳句に寄与した小峯大羽の碑があります。



高山市文化協会 ワンコイン・シアター チケット好評販売中

オケ老人!

否初主演作

平成29年 10/14 高山市民文化会館小ホール

①午前10時～ ②午後1時30分～ (開場各30分前)

料金(税込)/500円[全席自由] プレイガイド/高山市民文化会館 主催:(一社)高山市文化協会 お問い合わせ:(一社)高山市文化協会(0577-34-6550)

①文学碑 ②早船ちよ ③福田夕咲 ④江馬修 ⑤田中澄江 ⑥小島幸男 ⑦瀧井孝作 ⑧井上靖 ⑨小峯大羽

賞選考委員を永年務める 代表作「氷壁」。穂高の飛驒側滝谷が舞台 飛驒に立ち寄った際、雲橋社、花陰会、笹魚吟社による歓迎の俳句会が開かれ、後に高山へ移住。「蘭亭遺稿」などを編纂した

岩田守弘トーク& ワークショップを開催しました 8/26(土)

高山市文化協会は八月二十六日に飛驒洋舞家協会と合同で、飛驒で初めての試みとなるバレエのワークショップを開催しました。 講師に、ボリショイバレエ団でプリンシパル(トップダンサー)を務められた世界的に著名な岩田守弘先生をお迎えして、飛驒地域をはじめ愛知や千葉からの参加者も加えた四十名余りのバレエダンサーが、二時間近くレッスンを受けました。

一時的に、文化会館小ホール 入場無料 光ミュージアム特別展 「雪月花」 日本画に見る四季」 日時 開催中(12月10日(日) 午前10時～午後5時(水曜休館) 会場 光ミュージアム 入館料が必要



レッスン風景

第41回 飛驒文芸祭入賞者決まる

◆一般の部

◆文芸祭賞 該当者なし
◆江夏美好賞 該当者なし
◆高山市長賞 田中 彰 (高山市八幡町)
俳句十首 近藤 紀巳 (高山市八幡町)
小説 西 春彦 (高山市上一之町)
短歌十首

◆高山市議会議長賞 新井 悠 (加茂郡八百津町)
児童文学 新井 悠 (加茂郡八百津町)
俳句十首 小林 高子 (高山市八軒町)

◆高山市教育長賞 稲泉 真紀 (高山市大洞町)
現代詩 下畑 七三 (高山市総和町)
随筆 下畑 七三 (高山市総和町)

◆一般社団法人高山市文化協会賞

短歌十首 打保 洋子 (高山市日の出町)
短歌十首 片岡 和代 (高山市名田町)
随筆 後藤 順 (岐阜市)
現代詩 谷口 茂雄 (高山市江名子町)
短歌十首 樋田 玲子 (高山市名田町)
俳句十首 中西 亮太 (東京都文京区)
短歌十首 広瀬 亮子 (高山市下岡本町)
随筆 白 嶺 (高山市大新町)
小説 松山 正利 (下呂市金山町)
俳句十首 水口 諄子 (高山市久々野町長定)

◆奨励賞 門前 吉之 (高山市三福寺町)
評論 門前 吉之 (高山市三福寺町)

◆青少年の部

◆青竜大賞 該当者なし
◆青竜賞

短歌五首 上村龍之介 (高山西高校3年)
短歌五首 小木曾 都 (神岡高校2年)
短歌五首 清水 千聖 (神岡高校1年)
短歌五首 永縄 雄一 (高山西高校3年)
短歌五首 長澤 大翔 (高山西高校2年)
短歌五首 濱本 蔵人 (神岡高校2年)
俳句五句 川西 瑠偉 (神岡高校1年)
俳句五句 小木曾 都 (神岡高校2年)
俳句五句 清水 千聖 (神岡高校1年)
俳句五句 古田 実緒 (高山西高校2年)
現代詩 小木曾 都 (神岡高校2年)

表彰式:平成30年1月1日(月) 新年市民互礼会場にて(会場:ひだホテルプラザ) ※青少年の部の表彰は別途行います。

道伝えの日 芭蕉忌句会 俳句募集

高山市文化協会では、さまざまな伝統文化を後世に継承するため、高山市文化伝承館において「道伝えの日」事業を行っています。 その一環として、松尾芭蕉の命日(旧暦十月十二日)にちなみ「芭蕉忌句会」を開催するため、俳句を募集します。 句歴は問いません。たくさんの方の応募をお待ちしております。

◆出句 二句。兼題句「木枯」と当季雑詠句(秋・冬)の各一句ずつ

◆募集 作品二句と住所、氏名、電話番号を明記し、ハガキ、FAXなどで当協会へ

◆締切 十月三十一日(火)

◆句会 十一月十八日(土) 午後一時から

◆会場 高山市文化伝承館 (城山号砲平下)

